

授業概要

子どもや家庭支援について、心理、発達、家族、地域という視点から捉える重要性について講義する。また、子どもや家庭支援において求められる多職種連携の実践のため、保育現場の社会的役割と機能を知り、自分自身の考えを言語化する力、他者に伝える力を受講を通じて身につける機会を提供し、事例検討やロールプレイを行うことで現場における具体的な対応方法についても指導する。

授業計画

第 1 回	家族・家庭の意義と機能
第 2 回	親子関係・家族関係の理解
第 3 回	子育ての経験と親としての育ち
第 4 回	子育てを取り巻く社会状況
第 5 回	ライフコースと仕事・子育て
第 6 回	多様な家庭とその理解
第 7 回	特別な配慮を要する家庭
第 8 回	乳幼児期から学童期前期にかけての発達
第 9 回	学童期後期から青年期にかけての発達
第 10 回	成人期・老年期における発達/保育者としての生涯の発達
第 11 回	子どもの生活・生育環境とその影響
第 12 回	子どもの心の健康に関わる問題
第 13 回	子ども家庭支援をめぐる多職種連携①連携機関の理解
第 14 回	子ども家庭支援をめぐる多職種連携②他職種の理解
第 15 回	グループ発表・事例検討ーロールプレイー
第 16 回	筆記試験

到達目標

1. 家庭や家族機能、親子や家族関係を理解し、子どもと家族を包括的に捉えることができる
2. 人の生涯発達と乳幼児期における経験の重要性について理解することができる
3. 社会の中の子育て家庭をめぐる課題を理解することができる
4. 子どもの精神保健とその課題を理解することができる
5. 子どもや家庭の支援における多職種連携について理解することができる

履修上の注意

- ・保育士資格取得希望者の必修科目である
- ・子どもや家族・家庭を理解し支援するためには、多角的な視点をもつことが求められます。「自分はどの視点で、どう考えるか」と想像力を働かせ主体的な姿勢で受講することを求めたいと思います。また、自らの考えを積極的に発信するという事について学ぶ機会にして頂きたいです。

予習・復習

予習・復習 基本的には毎時間レジュメを配布します。復習のひとつとして、リアクションペーパーを用いて質問をしてください。翌週以降に、質問に対して応えることで学びが深まりますので積極的に活用して下さい。予習として、学校現場における最近の問題や課題に関心を持ち、自分なりの問題意識をもって授業を受けて頂きたいと思います。

評価方法

筆記試験もしくは最終レポート 60%、授業内レポート（毎回提出するリアクションペーパーへのコメント）30%、ワーク・ディスカッション・発表への主体的・積極的な取り組み 10%で評価します。

テキスト

参考書

最新 保育士養成講座 第6巻 子どもの発達理解と援助 ISBN：978-4-7935-1309-1
 著者名：『最新 保育士養成講座』総括編纂委員会 出版社：全国社会福祉協議会